

第3学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 結婚について

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

様々な結婚差別について，結婚の当事者とその家族の双方の立場に立って考えることで，互いの意見を尊重し合い，偏見や差別をなくしていこうとする意欲を高める。

4 指 導 計 画

（1）これまでの学習

第1回 未来を切り開く①（進路と人権）・・・・・・・・・・ 1時間

第2回 未来を切り開く②-1（結婚と人権）・・・・・・・・・・ 1時間

（2）本時の学習

第3回 未来を切り開く②-2（結婚について）・・・・・・・・・・ 1時間

5 本 時 の 学 習

（1）目標

結婚に関わる偏見や差別を自分自身の問題として考え，偏見や差別をなくしていこうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・個人の尊厳，法の下での平等

個別人権課題名・・・・・・・・同和問題，外国人，高齢者，障がい者

(3) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導入 5分	○前時のホームルーム活動を振り返り、本時の目標を確認する。	○本時の目標を明確にさせ、学習内容に興味をもたせる。	
展開 40分	○8つのグループに分かれ、それぞれの状況を確認する。 【状況】 ①被差別部落の出身者 ②外国人 ③高齢者 ④障がい者 と結婚することが決まり「家族に結婚相手を紹介する」という状況。 ○それぞれの結婚に関する問題点が書かれた情報を見る。 ○各グループで、結婚する当事者、もしくはその家族の役割に分かれ、互いの思いをどのように伝えるかを考え、話し合う。 ○「家族に結婚相手を紹介する」という場面において、様々なケースを想定し、グループごとにロールプレイを行う。	○様々なパートナーとの結婚があることに気付かせる。 ○憲法第24条「婚姻の自由」について押さえる。 ○与えられた情報に偏見や差別が含まれていないか注意するように伝える。 ○互いに相手のことを大切に思っているということを前提に話すよう促す。 ○他班の意見を傾聴し、必要に応じてメモを取るよう促す。 ○誤った考えをもつ人に、どのように説得するかを考えさせる。	○様々なパートナーとの婚姻は両性の合意に基づいて成立することを理解できたか。 (知識的側面) ○それぞれの問題点を自分のこととして捉え、考えることができたか。 (価値的・態度的側面) ○自分の考えとは異なる相手の意見を受け止めながらも、自分の意見を伝えることができたか。 (技能的側面) ○各グループのロールプレイを見て、自分自身が直面しうる問題として考えることができたか。 (価値的・態度的側面)
まとめ 5分	○本時のまとめを聞き、感想をワークシートに記入する。	○大切な人を守ろうとする思いや、世間での常識や一般的に流布している情報が、偏見や差別につながる場合があることを伝える。	○誤った情報や世間体に惑わされず、偏見や差別をなくしていこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面)